

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**(仮称)池子住宅地区小学校**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.3</b>	0.15	-	-			<b>3.3</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.9</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能	TLD-44	4.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL-50等級品相当以上	5.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	LH-55等級品相当以上	4.0	0.20	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.2</b>	0.35	-	-			<b>3.2</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.4</b>	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	窓SC = 0.58U=4.5、外壁U=0.627、屋根U=0.333	4.0	0.40	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-			<b>3.3</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>4.2</b>	0.30	-	-			
1 昼光率	U=3.427	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.8</b>	0.25	-	-			<b>3.8</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	接着剤、フロリング貼、ボード類にF を使用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	教室・7 96.1㎡ 開口面積7.08㎡ > 居室面積の1/15	4.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.7</b>	0.40	-	-			<b>2.7</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		1.0	0.50	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-			<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>2.9</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内壁:EP20年、床:ビニル床タイル20年、天井:岩綿吸音板30年	5.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性		3.0	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性		3.2	0.29	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり		4.2	0.31	-	-	
1 階高のゆとり	階高 = 4.55m	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性		2.5	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性		1.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性		1.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制	十分な断熱施工により建物の断熱化を図った。	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		2.5	0.20	-	-	2.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	個別型空調設備、高効率照明器具等省エネ配慮を行った。	4.5	0.30	-	-	4.5
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	ERR=25.5%	4.5		-	-	
集合住宅の評価		3.0		-	-	
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマに加え節水型便器を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.63	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	パーティクルボード、木毛セメント板	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	乾式二重床により躯体と仕上げ材の分別が容易	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.8	0.22	-	-	3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤、フロン・ハロンの回避	5.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1 消火剤	ハロゲン系消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	LCCO2低減率15%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制		3.4	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2 砂塵の抑制	校庭を全天候型舗装としている。	5.0	0.20	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	